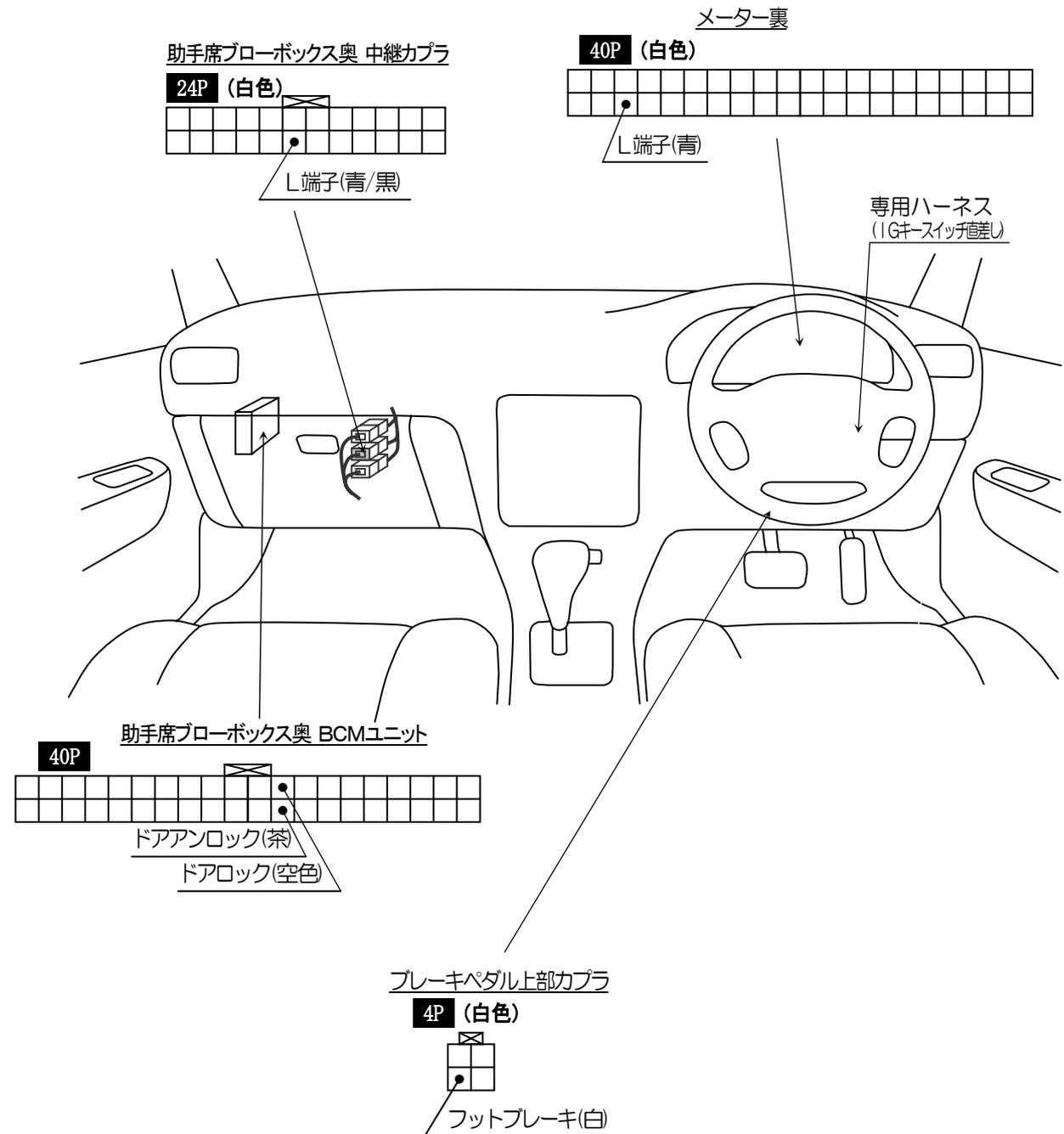


車種別接続情報

管理 No. S-0031 (1/6)

メーカー	スズキ	車体型式	C25
車種	ランディ	年式	H19.1~H22.12
専用ハーネス	N-111 & J-95 (イモビライザー装備車)		

- 電気式ドアロックスイッチ(ドアロックスイッチで全席のドアロック制御が可能なもの)装備車のみドアロック制御の取り付けが可能です。
VE-*(*)、VE-S***、キーレスエントリー(A-17SF)標準添付の機種 ⇒ **別売品は必要ありません。**
キーレスエントリー(A-17SF)オプション対応の機種 ⇒ キーレスエントリー-A-17SF が別途必要です。
- P-ポジション自動検出機能は**使用できません。** ブレーキ検出線(茶)をフットブレーキスイッチ配線に接続してください。
- エンジンスターターの設定項目で**エンジンスターター特殊制御の設定を OFF**に変更してください。(キー飛び込みエラーになりスターターでエンジン始動できません)
*次の機種はエンジンスターター特殊制御設定の設定項目が無いため、設定変更は不要です
(VE-E130R、E133R、E150R、E155R、E300R、E330R、E1、E2、E21、E22、E1kty、ZP1、VET-E25)



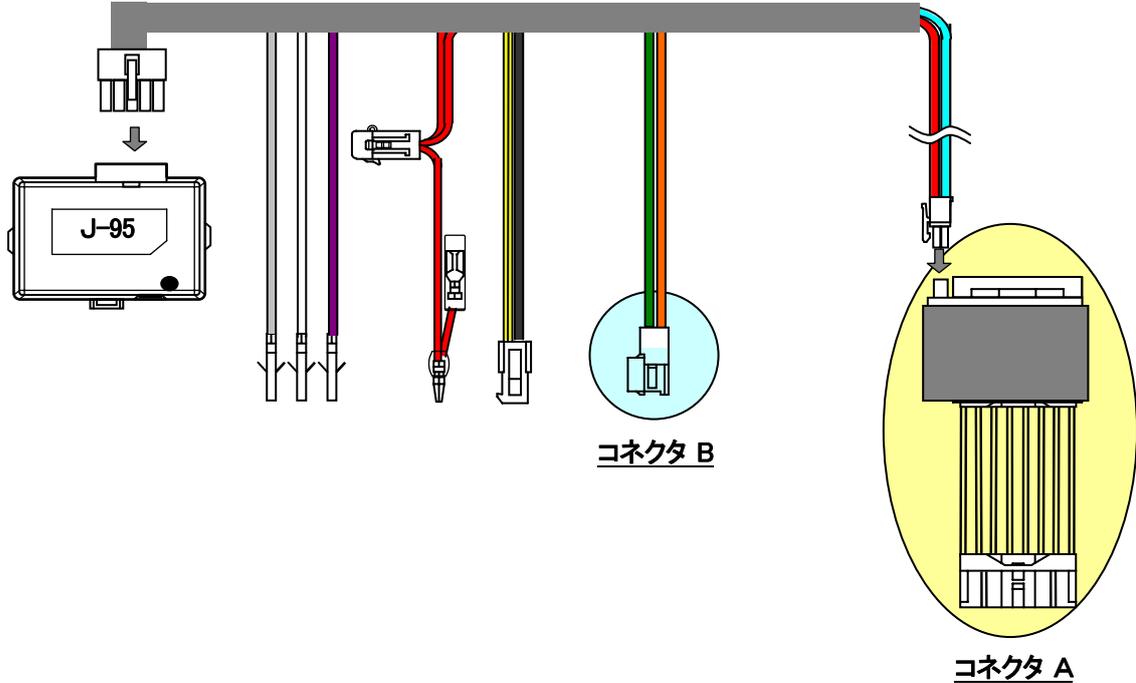
車種別接続情報

管理 No. S-0031 (2/6)

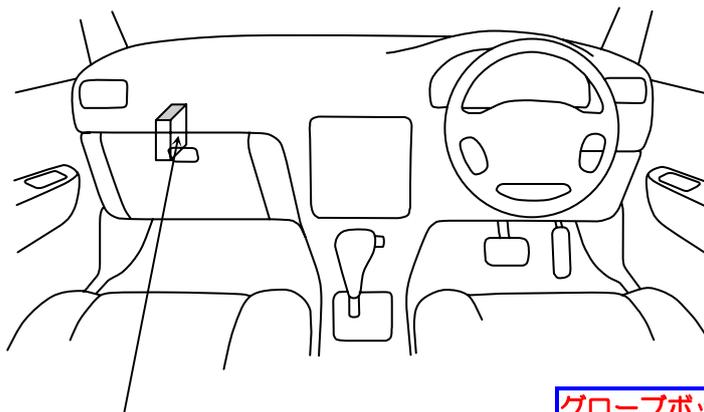
メーカー	スズキ	車体型式	C25
車種	ランディ	年式	H19.1~H22.12
専用ハーネス	N-111 & J-95 (イモビライザー装備車)		

取り付け作業は、バッテリー (-) 端子を外してから行ってください。

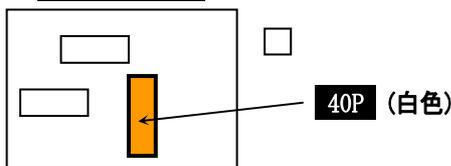
J-95 コネクタ A、コネクタ B の接続



コネクタ A の接続方法



グローブボックス
上部にある BCM



グローブボックス奥、上部左側、鉄板の後ろ側に BCM ユニットがあります。

グローブボックス奥中央のユニットは BCM ユニットではありません。

BCM ユニットに接続されている 40Pin (白色) コネクタを外し、J-95 のコネクタ A を間に割り込ませ接続します。

グローブボックス奥には、BCM のほか別のユニットでもコネクタ A (40Pin) と同形状のコネクタを使用しているユニットがあります。
別のユニットにはコネクタが 1 つしかありません。
(J-95 を接続しても正常にエンジン始動ができません)

必ず左図の BCM ユニットであることを確認してから接続してください。

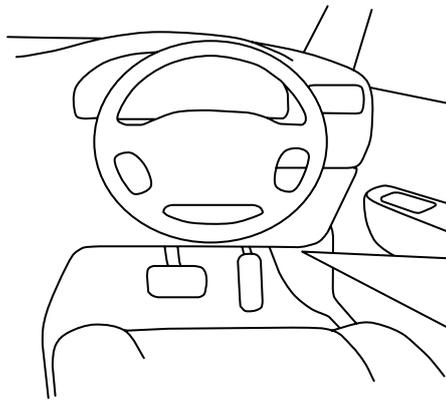
J-95 の接続方法は次のページに続きます

車種別接続情報

管理 No. S-0031 (3/6)

メーカー	スズキ	車体型式	C25
車種	ランディ	年式	H19.1~H22.12
専用ハーネス	N-111 & J-95 (イモビライザー装備車)		

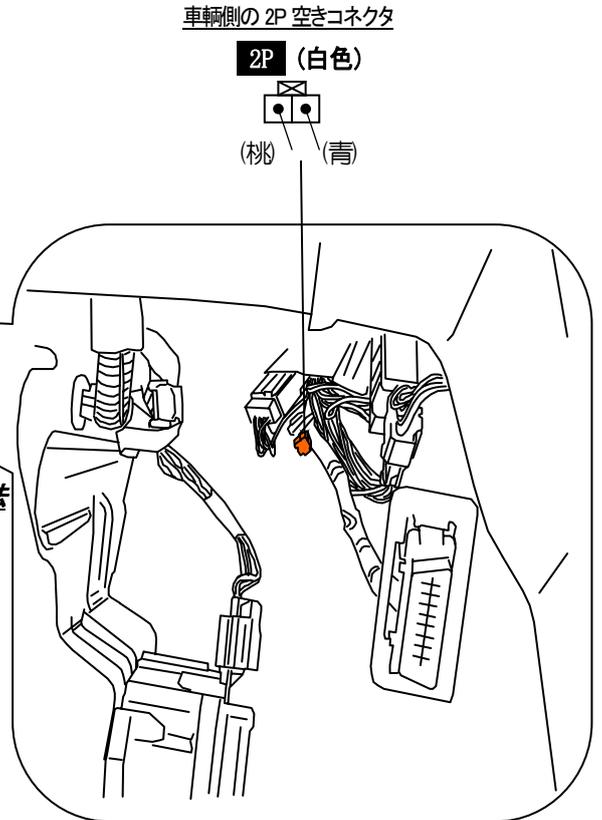
コネクタBの接続方法



イモビ対応アダプターJ-95 コネクタB (2P 緑線・橙線)接続方法

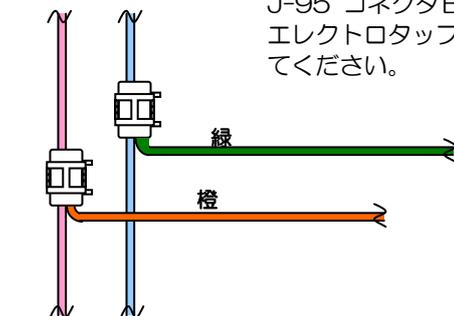
運転席足元、アクセルペダル右側に故障診断コネクタがあります。故障診断コネクタの配線(太い配線)をたどっていくと、途中でテーピングして2P(白色)の空きコネクタが固定されています。

上記、車輛側の2P 空きコネクタとJ-95のコネクタB (2P 緑線・橙線)を接続します。

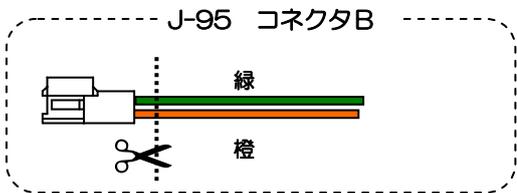


上記、車輛側のコネクタ(2P 白色)が見つからない場合

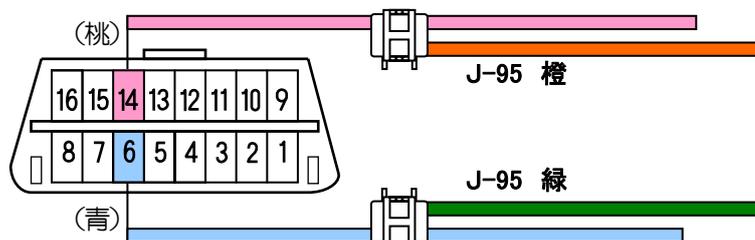
車輛の通信線



白色2Pメス 空きコネクタが見つからない場合、車輛の故障診断コネクタへ接続することも可能です。J-95 コネクタB (2P 緑線・橙線) のコネクタ部を切断し、エレクトロタップを使用して故障診断コネクタの通信線に接続してください。

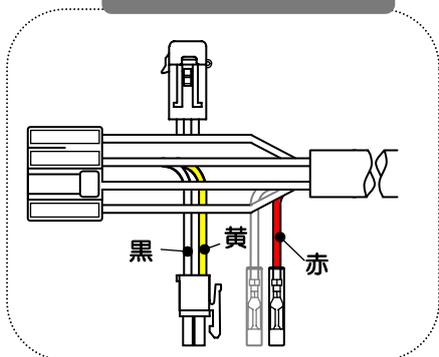


故障診断コネクタ (接合面から見て)



イモビ対応アダプターJ-95と車種別専用ハーネス、エンジンスターターへの接続

訂癒恠恠端ぎほがぐ



車種別専用ハーネスに接続します

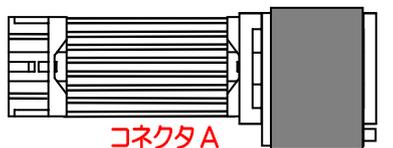
車輛の白色2Pメス 空きコネクタ

(接続先は車種別接続情報でご確認ください)



車輛の40Pコネクタに割り込ませ接続します

(接続先は車種別接続情報でご確認ください)



コネクタA

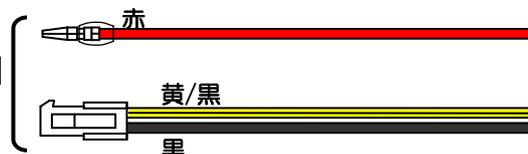
イモビ対応アダプター

エンジンスターターのセンサーハーネスに挿入します。
(接続位置は下記ご参照ください)

イモビA (灰/黒)

イモビB (白/黒)

エンジンスターター接続線 (紫)



赤

黄/黒

黒

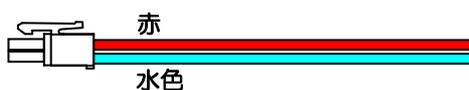


緑

橙

コネクタB

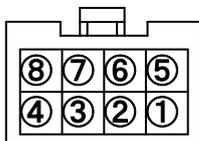
コネクタAに接続します



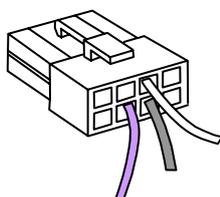
赤

水色

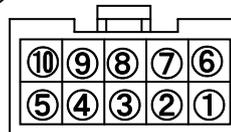
センサーハーネスが8ピンタイプでの接続

スターターユニットの
センサーハーネス
(コネクタ-2)が
8ピンのコネクタ

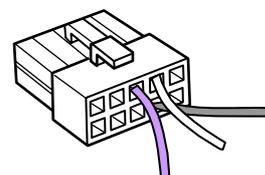
- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
 - ⑥ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
 - ③ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。
- * 他の端子には接続しないでください。



センサーハーネスが10ピンタイプでの接続

スターターユニットの
センサーハーネス
(コネクタ-2)が
10ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
 - ⑦ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
 - ⑧ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。
- * 他の端子には接続しないでください。



1) イモビ対応アダプターJ-95の登録の前に

エンジンスターター、J-95取り付け後は、必ず下記の順にエンジンスターターの設定を行ってください。

J-95 登録の前に

【エンジンスターターの設定】

● パーキング (P) ・ポジション検出の設定

エンジンスターターのセンサーハーネスから出ている**ブレーキ検出線 (茶)** を車輛のフットブレーキ配線に接続してください。
その後、下記の操作を行ってください

- 1) スタータユニットの電源投入後、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
- 2) シフトレバーがパーキング (P) ・ポジションに入っていることを確認します。
- 3) キーでIGをONにします。
→約3秒後にジャンクションユニットから『ピピッ』音が出ます。
- 4) シフトレバーを触らず、ブレーキペダルを踏み込みます。
(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください)
→ジャンクションユニットから『ピッ』音が出ます。
- 5) ブレーキペダルを離します
→ジャンクションユニットから『ピロロロロ』音が出ます。

以上で、Pポジション検出完了です

● エンジンスターター特殊制御の設定をOFFに変更する

エンジンスターターの設定項目で**エンジンスターター特殊制御の設定をOFFに変更**してください。

*設定変更の手順は、エンジンスターターの取扱説明書 (エンジンスターター特殊制御設定の頁) を参照してください。

*次の機種はエンジンスターター特殊制御の設定項目が無いため、設定変更は不要です

(VE-E130R、E133R、E150R、E155R、E300R、E330R)

以上でエンジンスターターの設定は完了です。引き続き J-95 の登録を行います。

【J-95 の登録】

登録方法は、別紙に記載しています。

2) イモビ対応アダプターJ-95の登録

登録の前に

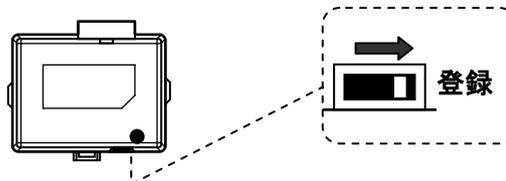
J-95の登録を行う前に、必ず、エンジンスターターで次の設定を行ってください。

- ・Pポジション検出 (ブレーキ検出線を車輛のフットブレーキ配線に接続してから設定を行ってください)
- ・エンジンスターター特殊制御設定を「OFF」に変更
(設定方法は、エンジンスターターの取扱説明書をご参照ください)

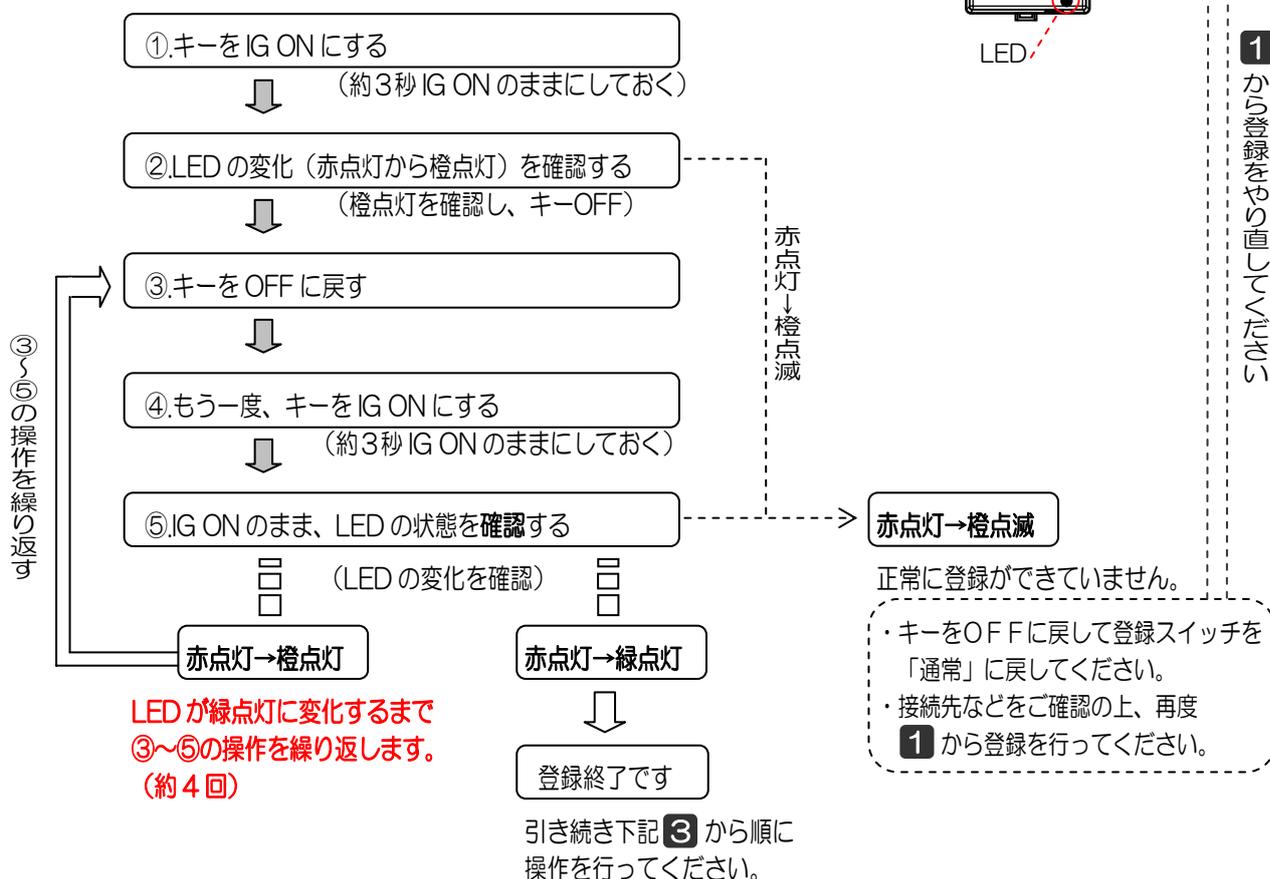
その後、以下の手順でJ-95の登録作業を行います。

J-95の登録手順

- 1 登録スイッチを『登録』に切り替えます。

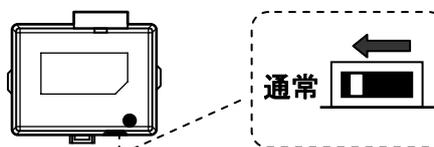


- 2 車輛キーをIG ONにすると登録が始まります。
(LEDが赤点灯から緑点灯に変化するまで繰り返し操作を行います)
操作はゆっくり行ってください。すばやく操作を行っても登録はできません。



- 3 車輛キーをOFFに戻します。

- 4 登録スイッチを『通常』側に戻します。



以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。